



科学、芸術、自然をつなぐ国際フェスティバル 「科学と芸術の丘2020」Garden of Creativity-はじまりの庭-

11月21日(土)～22日(日)の2日間、科学の分野を芸術として視覚的に表現する、先端科学と芸術が融合した国内でも数少ないフェスティバルを開催します。



当時最先端の庭園を造り、新しい文化や技術を暮らしに取り入れたグローバルな先駆者の一人・徳川昭武が建てた戸定邸を舞台に、世界で活躍し、時代を切り開く研究機関や研究者、アーティストによるトーク、ワークショップ、特別展示を実施します。

新型コロナウイルスの世界的なパンデミックにより、私たちの生き方や社会は大きく変化したことを背景に、今年は「Garden of Creativity-はじまりの庭-」をテーマとしました。

開催にあたっては、感染拡大防止のため、解説付きのガイドツアー制(要事前申込、先着順)とし、オンライン配信を併用するなど、新たな試みも取り入れながら、世界最高峰のメディアアートの文化機関「Ars Electronica(アルスエレクトロニカ)」総合芸術監督が登場する基調講演の放映や、対話を通じて未来へのアイデアや問いを生み出していく新しいトークセッションの実施、アーティストたちによる作品展示やトーク、プログラミングワークショップ、昆虫観察ワークショップなどを実施します。

創造的な未来を庭のように育む、クリエイティブな社会について考える機会となり、私たちの生き方や社会のあり方、そして自然との関係性を改めて見つめ直し、当時最先端であった戸定邸の庭園から、新たな出発ができることを目指しています。

※フェスティバルの詳細は、「科学と芸術の丘」公式ホームページをご覧ください。<https://science-art-matsudo.net/>



公式ホームページ



科学と芸術の丘2020 Garden of Creativity – はじまりの庭 –

- ・開催日時／2020年11月21日（土）11時～17時
11月22日（日）11時～16時
（戸定邸の開館時間は9時30分～17時）



- ・会場／戸定邸・松雲亭・戸定が丘歴史公園
徳川昭武が建てた、全国で唯一、一般公開されている徳川家の住まい「戸定邸（国の重要文化財）」と茶室「松雲亭」、自然あふれる公園を会場とします。



- ・料金／無料

（ツアー A～F と I～18 は、別途戸定邸入館料一般 250 円、高校大学生 100 円）

- ・申し込み／事前申込制（先着順）。11月1日（日）から、
Peatix の専用応募フォームで受け付け（要会員登録）



<https://science-art-matsudo.peatix.com/view>

申し込み専用フォーム

ガ ー デ ン オ フ ク リ エ イ テ ィ ビ テ ィ [科学と芸術の丘2020] Garden of Creativity – はじまりの庭 – について

2020年、新型コロナウイルスの世界的なパンデミックにより、私たちの生き方や社会は大きく変化しました。自然と人間社会とのバランスや、社会システムの課題が浮かび上がる中、世界中のアーティストや研究者は、クリエイティブな発想により世の中の課題や問いに取り組んでいます。

科学と芸術の丘は今年で3年目を迎えます。松戸市におけるクリエイティブなコミュニティから始まったこのフェスティバルも、1年目に撒いた種が、2年目に芽を出し、3年目には街全体へと広がる「庭」に発展しつつあります。当時最先端であった戸定邸の庭園からはじまった革新のバトンは、街全体に広がる現代のクリエイターへと受け継がれています。

本フェスティバルでは、世界最高峰のメディアアートの文化機関「Ars Electronica（アルスエレクトロニカ）」との共同キュレーションにより、世界で活躍し時代を切り開く研究機関や研究者、アーティストたちによるトーク、ワークショップ、特別展示を通じて、私たちの生き方、社会のあり方、そして自然との関係性を改めて見つめ直し、この庭からまた新たな出発ができることを目指しています。



科学と芸術の丘2020 ご取材・報道についてのお願い

当日ご来場いただける場合には、戸定邸前に設置しております、ご案内用の受付テントにお越しいただき、市職員にお声がけください。会場及び展示作品やアーティスト等のご案内をさせていただきます。会場で記者の皆さまにお目にかかれるのを楽しみにしております。

キーノートスピーカー

Keynote Speaker (基調講演) ※映像での放映

会場／戸定邸表座敷棟の大型モニター

(CQCやアーティストトーク、ワークショップ実施時は放映中止) ●オンライン配信あり

世界が注目するメディアアートの文化機関「Ars Electronica (アルスエレクトロニカ)」のトップと松戸市のトップが、それぞれ映像で語ります。

- Ars Electronica (アルスエレクトロニカ) 総合芸術監督
Gerfried Stocker (ゲルフリート・シュトッカー、オーストリア)

「Ars Electronica」の総合芸術監督で、アルスエレクトロニカのトップとして活躍中のGerfried Stocker氏が特別に登場！「科学と芸術の丘2020」のためだけに、科学とアートがつなぐ未来の可能性について語る、貴重な講演を映像で放映します。

Credit/rubra



- 松戸市長／本郷谷健次

本郷谷市長が、「子育て・教育・文化を軸とした都市ブランドづくり」を掲げ、「文化の香りのする街」の構築に取り組む松戸市にとって、科学や芸術がどのような価値を生み出していくかなど、松戸の未来とまちづくりについて映像で語ります。



クリエイティブ クエスチョン チャレンジ

Creative Question Challenge (略CQC：トークセッション)

会場／戸定邸表座敷棟 ☆要ツアー申込 (CQC+展示ガイドツアー) ●オンライン配信あり

定員／各先着 20 人 (ツアーA学生、ツアーBプロフェッショナル)

CQCは、Ars Electronicaが独自に開発、アートシンキングに基づいた手法を用いて、インタラクティブにクリエイティブなアイデアや問いを出し合い、未来のビジョンを一緒につくるオンラインプラットフォームで、パネリスト2名が、カタリストの進行に沿って対話をしていきます。



登壇者たちの対話を通じて、現実として描いている計画や未来、解決策ではなく、お互いに質問したり、その場で思ったことや意見などを自由に出し合ったり話したりしながら、まだ世にないクリエイティブなアイデアや問いを生み出していきます。

生み出されたアイデアや問い、問いに対するアクションなどが話された場合、ヴィジュアライザーが可視化していくという、新しい手法のトークセッションです。

オンライン配信では視聴やコメント投稿で参加できます。

CQC
登壇者
は4名

- ・異なる分野や背景を持つパネリスト2名
- ・進行を担うカタリスト1名
- ・可視化するヴィジュアライザー1名



●学生バージョン

(ツアーA 11/21(土)11:30~13:00のうち、CQCは11:30~12:30頃)

東京大学や千葉大学の学生たちが、大学でのさまざまな分野の研究を、社会にどうつなげていくのかなどについて話します。

- ・カタリスト：東京大学大学院総合文化研究科 兼 OFFLABEL 代表・高田玲奈 他



●プロフェッショナルバージョン [テーマ：Future Education (日本語訳作成中)]

(ツアーB 11/21(土)15:00~16:30のうち、CQCは15:00~16:00頃)

オーストリアと映像でつないで、未来を担う子どもたちの学びや松戸の未来の可能性を語ります。

- ・パネリスト：Prix Ars Electronica (プリ アルス エレクトロニカ) ヘッド・小川絵美子 (オーストリア)、松戸市教育長・伊藤純一
- ・カタリスト：Ars Electronica Futurelab リサーチャー・清水陽子(オーストリア)
- ・ヴィジュアライザー：東京大学大学院総合文化研究科 兼 OFFLABEL 代表・高田玲奈



小川絵美子氏



清水陽子氏

©vog.photo



アーティストトーク（オルガ氏のみ、映像配信）

会場／戸定邸表座敷棟 ☆要ツアー申込（アーティストトーク+展示ガイドツアー）

定員／各先着 20 人（ツアー-C三原氏、ツアー-Dオルガ氏、ツアー-E MATHRAX）

本フェスティバルで作品を展示する 3 組のアーティストが作品や活動について話します。（オルガ氏のみ映像配信）



- 三原聡一郎
（ツアー-C 11/22(日)
11:00～12:00 の
うち、トークは
11:00～11:30 頃）



- MATHRAX
（マストラックス）
（ツアー-E 11/22(日)
13:30～14:20 の
うち、トークは
13:30～13:50 頃）



- Olga Kisseleva（オルガ・キセレバ、ロシア）
（ツアー-D 11/22(日)12:30～13:30 のうち、
トーク映像放映は 12:30～13:00 頃）

©Didier Goupy

Workshop（ワークショップ・プログラミング）

会場／戸定邸表座敷棟 ☆要ツアー申込（※展示ガイドツアーは、なし）

定員／先着 20 人（ツアー-F） 持ち物／スマートフォン

- クリエイティブコーダーで easel 監修者の一人、田所淳が教える

スマホで学べるプログラミングワークショップ：「easel」
イーゼル

（ツアー-F 11/22(日)14:00～15:30、展示ガイドツアーは、なし）

「easel（イーゼル）」は、慶應義塾大学教授の脇田玲氏と前橋工科大学・東京藝術大学・慶應義塾大学で教鞭をとるクリエイティブコーダーの田所淳氏（松戸市出身）が監修。



プログラミングの学習に「アート」と「創造性」の要素を取り入れた、新しいプログラミング教材です。

自分のスマートフォンを使って、視覚的なイメージやアニメーションなどを作るワークショップを開催。子どもから大人まで、年齢を問わず、初心者でも楽しく学べます。



田所淳氏



Workshop (ワークショップ・昆虫観察)

会場／戸定が丘歴史公園 ☆要ツアー申込 (※展示ガイドツアーは、なし)

定員／各先着 15 人 (ツアー[G]~[J]) 持ち物／メモ帳またはノート、筆記用具

- 昆虫の研究を進める千葉大学園芸学部の野村教授と一緒に昆虫や植物を観察
アウトドアワークショップ：「科学と芸術の丘探検隊」

(ツアー[G]11/21(土)11:00~12:00、ツアー[H]11/21(土)13:00~14:00、

ツアー[I]11/22(日)11:00~12:00、ツアー[J]11/22(日)13:00~14:00、

展示ガイドツアーは、なし)

昨年も子どもたちに大人気だった、千葉大学園芸学部応用昆虫学の野村昌史教授が率いる「科学と芸術の丘探検隊」。

身近な昆虫や自然のおもしろさを伝えたいという野村先生や、研究室の学生さんの皆さんの解説を聞きながら、戸定が丘歴史公園にいる昆虫や植物を一緒に楽しく観察します。



Exhibition (特別展示)

会場／戸定邸 ☆要ツアー申込 (展示ガイドツアー、所要約 50 分)

定員／各先着 10 人 (11/21(土)11:00~15:30 まで 30 分ごとに出発、
11/22(日)11:00~14:30 まで 30 分ごとに出発)

3組のアーティストが戸定邸内や公園内に作品を展示します。展示ガイドツアーでは、スタッフが作品の紹介なども交えてご案内します。

- 想像上の修辞法／三原聡一郎

2011年より、テクノロジーと社会の関係性を考察するために、空白をテーマにしたプロジェクトを国内外で展開する三原氏。今回は、「ぴよぴよ」「きゅっきゅっ」と鳴く鳥のさえずりを響かせるサウンドインスタレーションを戸定邸の中や公園内に設置します。



撮影：山本紉 courtesy of Tsushima Art Fantasia

三原聡一郎／世界に対して開かれたシステムを提示し、音、泡、放射線、虹、微生物、苔、気流、土、水そして電子など、物質や現象の「芸術」への読みかえを試みている。アルス・エレクトロニカ、トランスメディアール、文化庁メディア芸術祭、他で受賞。



ゴースト フォレスト
●Ghost Forest / Olga Kisseleva (オルガ・キセレバ、ロシア)

考古学者によって発見された、絶滅した樹木の種子から木々の復活を試みる活動を受け、未来に復活した木々で構成される幽霊のような森を、戸定邸の障子などに映して、古代と現代、木々と人類の関係性を問うインスタレーションです。人類が自然に与えたダメージを修復することはできないだろうかという希望を植える作品です。



Olga Kisseleva (オルガ・キセレバ) / 革新をもたらした作品を表彰する「STARTS Prize 2020」受賞。国際的なアート&サイエンス分野のキーパーソンの一人として、科学、生物学、地球物理学を用いて、実験、計算、分析を行いながら、科学的なメソッドを駆使した作品を制作。世界の重要な美術館に収蔵されている。

●いしのこえ / MATHRAX (マストラックス、久世祥三・坂本茉莉子)

デジタルデータと人間の知覚との間に生まれる現象に注目し、人が他者と新たなコミュニケーションを創り出していく仕組みを作品に取り入れる2人組のアートユニットが、石に電気をまとわせて、人と石が繋がった時に音を奏でるといふ不思議な仕組みの作品を展示します。



MATHRAX (マストラックス) / 電気、光、音、香り、木や石などの自然物を用いたオブジェやインスタレーションの制作を行う、久世祥三と坂本茉莉子によるアートユニット。ふれるとオルゴールのような音を奏でる動物の木彫や、水面に映る光を題材にした LED 照明などを発表。KONICA MINOLTA エコ&アートアワード等各種受賞。

同 時 開 催 企 画

同時開催 庭みたいにお店を歩く。会場周辺マップ「わたしの庭」でお店めぐり
会場 / 松戸の街

ホームページからマップをチェックして、会場周辺の街を庭みたいに歩いてみてください。市民有志が声がけして協力してくれることになったお店やスポットをマップに掲載。開催当日だけのオリジナルメニューを用意してくれるカフェやレストランも登場します。※今年は、感染拡大防止に配慮し、公園内での「丘のマルシェ」は中止します。



マップ「わたしの庭」



同時開催

MATSUDO KIDS プログラミングコンテスト受賞作品体験
会場／松雲亭（表彰式は 11/21(土)13 時～14 時）

市内の小・中学生が作ったゲームやアプリのコンテスト受賞作品 10 点を「松雲亭」に展示。体験もできます。

※密を避けるため、当日、入館人数の制限をする場合あり。

※2020 の受賞作品は現在審査中。

11 月 21 日(土)13 時～14 時、会場で表彰式を実施。



2019 の受賞作品

科学と芸術の丘 2020

【主 催】 松戸市

【協 力】 Ars Electronica（アルスエレクトロニカ）、東京大学大学院学生有志、
千葉大学園芸学部応用昆虫学 野村研究室

【特別協力】 松戸シティガイド

【後 援】 JOBAN アートライン協議会、松戸商工会議所、一般社団法人松戸市
観光協会、公益財団法人松戸市文化振興財団、公益財団法人松戸市国際
交流協会、松戸市教育委員会

【問い合わせ先】

経済振興部文化観光国際課 ☎047-366-7327